

認知症に関する多職種連携研修会開催結果

○開催日時：平成29年2月18日（日） 10:00～12:00

○参加者数：55人

○内 容：講演（10:05～10:45）

演題：認知症のBPSDを地域で支える～包括的視点での多職種の関わり方～

講師：九州保健福祉大学 教授 小川 敬之 氏

事例検討（10:45～11:30）

○アンケート集計（45人回答）

(1) 所属（重複回答あり）

- ① 医師：3名 ② 歯科医師：4名 ③ 薬剤師：4名 ④ 看護師：3名
⑤ その他医療関係者：3名 ⑥ 居宅介護支援事業所：10名
⑦ 介護サービス事業所：12名 ⑧ 地域包括支援センター：6名
⑨ その他介護関係者：1名

(2) 研修会に関して

② 講演内容について

よく理解できた：35人、理解できた：10人、あまり理解できなかった：0人

③ 事例検討について

よく理解できた：24人、理解できた：21人、あまり理解できなかった：0人

④ 多職種で連携することの大切さについて

よく理解できた：41人、理解できた：4人、あまり理解できなかった：0人

(3) 今後の多職種連携研修で受講してみたい研修内容、講師について

- ・ 情報共有の具体的な方法について
- ・ 高齢者や認知症の方の心理学、精神面に造詣の深い方のセミナー
- ・ 今後どのように多職種が連携していくのか
- ・ どの職種にどういうことをしてほしいのかのアンケートをもとに研修
- ・ 薬局のできる連携への関わり方について
- ・ 成年後見制度
- ・ もっと認知症をしてほしい
- ・ まずは、多職種連携の大切さの普及活動をもっとしていただきたいです
- ・ 在宅介護、ターミナルケアについての研修を受講したい
- ・ やまと精神医療センター前田氏に今後も継続して話をしていただきたいと思っています。
最近認知症の中で、前頭側頭型の認知症状の利用者様が増え、対応に迷うことがあります。
- ・ 地域自治の取り組みや介助等について

- ・精神障害者のための研修
- ・事例検討ではなくても、他職種に知ってほしい自分の（職種）強みを PR してもらったりしても良いかなと思いました。
- ・認知症の方を地域で支える仕組みについて（先進事例等）

(4) その他、感想や気づいたこと

【講演に関して】

- ・わずかなチャンスを見逃さない、小川先生に感動！
- ・講師への質問時間をとるべき。
- ・「Care は心遣い」よく分かりました。
- ・小川先生の講演は良かったです。初心に戻って、なぜそんなことをするのか想像して少しでもその人に寄り添っていけたらいいなと思います。これからも研修を実施して行ってください。ありがとうございます。
- ・本人の「心の痛み」に沿うことが、大切だと痛感しました。
- ・小川先生の話は自分の中ですっと落ちる内容で、本当に勉強になりました。
- ・BPSD についてとても分かりやすかったです。

【事例検討に関して】

- ・介護認定審査会の情報で討論していたように思います。審査会では生活歴まで書かれているので、ケアプランナー、ケアマネジャーとの今後の一層の情報収集のご努力をお願いします。
- ・研修会後に食事会などを行うとざっくばらんに意見交換ができると思います。
- ・もう少し話しあう時間が欲しいと思いました。他職種の方と話ができてよかったです。
- ・時間が短かった。せっかくのグループワークではあったが、名前程度の自己紹介で終わってしまい残念だった。このような多職種連携研修が定期的であればよいと思う。
- ・講演もグループワークも少し時間が短かったので、もう少し長い研修にしてもらえたら、もっとたくさんの方と意見交換ができたと思います。
- ・事例検討では多職種の方の悩みなどを聞くことができてよかったです。
- ・事例検討の際に、医師から情報共有が大切だと医療機関も考えておられ、システムも作っていきたいと考えていると話されていたので、連携していきたいと思いました。

【全体的なことに関して】

- ・貴重な会に参加させていただきありがとうございます。機会がございましたら、次回もぜひ参加させていただきたいです。
- ・また企画をお願いします。ありがとうございました。
- ・訪問診療してくださっている医師が出席されていたので、よかったです。今後ももっと参加して顔が合わせられたらいいなと思いました。
- ・今後も参加したいと思います。
- ・医師と直接意見をいただく機会が持てたことがとても有難かったと思いました。

- ・多職種の方の意見が伺えてとても参考になりました。連携の必要性を強く感じました。
- ・普段お話をする機会のない方々との時間は大変貴重な時間となりました。
- ・病院内の仕事が多いので、在宅機関の方の話を聞くことができ勉強になりました。
- ・ありがとうございました。認知症になっても安心して暮らせる町がいいなと思いました。
- ・場に慣れることが大切だと感じました。また参加したいです。
- ・改めて多職種連携の大切さを実感した。今回、同グループ内に医師が 2 人も参加しておられたことに感動しました。お話を聞く機会があつてよかったです。
- ・多職種の方と検討できて専門的な考えを聞けてとてもよかったですと思いました。
- ・この後、事業所として協力していきたい。
- ・退院されるときには、利用者さんに関わるであろう職種の人の会議が毎回実施されることを望みます。
- ・色々な医療や介護サービスを利用している場合は、本当に多職種スタッフとの連携は大切だと改めて思いました。
- ・多職種の方と顔をみて専門分野の意見を聞くことができ、大変勉強になりました。連携の大切さを痛感しました。
- ・よい機会になりました。定期的実施していただいて、顔の見える関係を持つことができたらと思いました。



小川教授講演



事例説明



事例検討のようす